

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	信頼が生む、本当の強さ	事務局	536
学校名	新佐市立明倫学園	氏名	大塚 青空

私は、夏休みに自衛隊に行きました。ですが、私は将来の夢を決められずにいました。

ですが、私は国を守る自衛隊に行くと少しでも知りたくて行ったら駐屯地に入ると、ヘリコプターや軍用車が数台が並んでいてニュースで見たことないものもあり、迫りもあって自衛隊の人が軍用重砲は東根から上山まで飛ばせると聞いて、思わず「すご...」と声が出てしまいました。ニュースで見れば全く違ってびっくりしました。

最初に体験した7-7ロープでは、ロープの結び方や扱い方を教わりました。隊員の方はすばやくやっていて簡単そうなのに、自分かやると指が絡まったり、形が崩れたりしてとても難しかったです。「急がずに、確実にやるのが大切だよ」という隊員の方の言葉を聞いて、日ごとの作業一つひとつにも丁寧さが必要なんだと感じました。

基本形の体験では、号令に合わせて動くのに苦戦しました。隊員の方から「声言われるだけで動きが揃って形が綺麗だったけど、私達かしてみたら向きがバラバラになってしまいました。隊員のかついで中間との動きを合わせるのが大事なんだよ」と教わりました。自衛隊は「一人で元気づける場所ではなく皆で支え合う場所なんだ」と感じました。昼ご飯は食堂で自衛隊の人達と一緒に食べました。言川練している時はちょっと雰囲気か小怖くて、男の壁があると思ってたけど、行ってみたら男関係なく一緒に食べて何気ない会話をしていた、ボリューム満点で量も多かったのに、隊員の方々はすぐ食べて置いて何だったかと思ったら「皆遊んだり自分の好きな時間を過ごしたんだよ」と言われてちゃんと理由があるんだと思いました。

格闘体験では、隊員の素早い動きに驚かされた。カマカ

せであるのではなく、体の使い方やその状態によって使う杖が違えば体を思った通りに重くかすことの難しさを感じた。

そして、何より心に残ったのは、新庄戸長さんのお話だ。戸長さんは私たちに色々な話やアドバイスなどをしてくれて一番心に残った言葉は「陸・海・空であることも全然違うけど、皆国民の人達を守るそれは一緒なんだよ。」「強い人より、信頼される人になりなさい。」この二つの言葉は、心にじわじわと響いた事は忘れられません。自衛隊の仕事は派手な戦闘や訓練だけでなく、日々の点検や準備、地道な努力の積み重ねで成り立っている。だからこそ、手を抜かないことと仲間との絆が何より大切だという。

私はこの三日間で、自衛隊の皆さんが日常で見せる「当たり前の本気」に感動しました。私自身、学校生活や私生活で中途半端になっていることが多々気づきました。友達との約束、授業態度、家の手伝いどれも、信頼を積み重ねるのが大切な人だと思いました。目立つことだけが強さではなく、見えないうちで努力することこそが、人を守る力になると学んだので、将来は大切な人を守るだけでなく、人の事を守るような仕事をしたいなと思いました。